双方向無線機器用 Bluetooth アダプター

SENA SR10

ユーザーガイド

version 1.2.1

2013 年 4 月 23 日改訂

この度は本ユーザーガイドをご利用いただき誠にありがとうございます。
本ユーザーガイドは、セナブルートゥース ジャパンが正規品購入の方向けに作成、配布しております。
無断で複製、譲渡、または会員サイト以外のリンクを通してのダウンロードはしないでください。

http://senabluetooth.jp

目次

本無線機器を安全にお使いいいただくために........5
免責・製品保証........6
1. はじめに........7
２. 製品および同梱品........8
2.1 メインユニット........8
2.2 同梱アクセサリー........8
3. SR10 の取り付け........9
3.1 ハンドルバーに取り付ける........9
3.2 ベルト/ポケットに取り付ける........9
4. SR10 の電源オン/オフおよび充電方法........10
4.1 電源のオン/オフ........10
4.2 機器の充電........10
5. SR10 と Bluetooth 機器とのペアリング方法........11
5.1 Bluetooth ヘッドセットとのペアリング........11
5.2 Bluetooth 携帯電話とのペアリング........11
6. SR10 を使用する........12
6.1 双方向無線機器(トランシーバー)を使用する........12
6.2 ケーブル PTT ボタンの取り付け方法........12
6.3 ポートおよびケーブル........12
6.4 携帯電話に SR10 をつないで使う........13
6.5 オーディオチャンネルの開閉について........13
6.6 SR10 の各種設定値........14
6.7 工場出荷時（初期値）の状態にリセットする........15
6.8 SR10 がうまく動作しない時........15
6.9 SR10 と周囲の Blueooth 機器がうまくペアリングしない時........15
6.10 SR10 のファームウェアアップグレード........15
7. ボタンおよび LED 表示のクイックリファレンス........16
7.1 ボタン........16
7.2 LED 表示 （使用中）........16
7.3 LED 表示 （充電中）........16
製品保証........17
障害修理票........19
製品保証書........20

製品取扱について

本製品を安全にお使いいただくために

○ 本機およびアクセサリーを正しく使用するために、必ずお読みください。

○ この記載内容を守って製品をご使用ください。

○ パソコンや接続される機器の故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取扱いを謝ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象にはなりません。

表記の意味

警告表示の意味

 警告　人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意　人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための禁止事項

一般禁止　その行為を禁止します。

接触禁止　特定場所に触れることで傷害を負う可能性を示します。

水ぬれ禁止　水がかかる場所での使用、水に濡らすなどして使用すると漏電、感電、発火の可能性を示します。

火気禁止　外部の火気によって製品が発火する可能性を示します。

分解禁止　分解することにより製品が発火する可能性を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項

使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

電源コードのプラグを抜くように指示するものです。

警告事項

本製品を道路上での使用については、各地方自治体の条例、各都道府県の道路交通法に従って下さい。

電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復したりしないでください。火災がおきたり感電するおそれがあります。

本製品の内部に次のような異物を入れないでください。
金属物、水などの液体、燃えやすい物質、薬品等回路がショートして火災の原因になります。

本製品を改造・分解しないでください。
感電、発煙、発火の原因になります。

ボタンに過剰な圧力をかけないでください。
ボタンに過剰な圧力をかけたり、必要以上に押し続けると、故障の原因になります。

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対にプラグを差し込まないでください。
異なる電圧で使用すると、感電、発煙、火災の原因になります。

電源ケーブル（または AC アダプター）は必ず本製品付属のものをお使いください。また、製品添付の電源コード（または AC アダプター）を他の機器には使用しないでください。
本製品付属以外の電源ケーブル、AC アダプターをご使用になると、感電、発煙・発火のおそれがあります。

周辺機器は、マニュアルの記載されている手順に従って正しく取り付けてください。
正しく取り付けられていないと、発煙、発火の原因になります。

電源製品のケーブル、コネクター類、付属品など小さなお子様の手が届かないように機器を設置してください。
けがをするおそれがあります。

化学溶剤、洗滌剤などを使わないでください。

製品をペイント等で塗装しないでください。

注意事項

次の場所には放置しないでください。
・感電、火災の原因になり、製品に悪い影響を及ぼすかもしれません。
・強い磁界が発生するところ（故障の原因）
・静電気が発生するところ（故障の原因）
・振動が発生するところ（故障、破損の原因）
・平らでないところ（落下などでけがの原因）
・直射日光があたるところ（故障や変形の原因）

・火気周辺、熱気がこもるところ（故障や変形の原因）
・漏電の危険のあるところ（故障や感電の原因）
・漏水の危険のあるところ（故障や感電の原因）

本製品を破棄するときには、各地方自治体の条例に従ってください。
内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

本無線機器を安全にお使いいただくために

正しく使用するために必ずお読みください。
この記載内容を守って製品をご使用ください。

接続される機器の故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取扱いを誤った故に生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象にはなりません。

無線機器について
・心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている近くで本製品をご利用にならないでください。
・医療機関内でのご利用の際には、各医療機関の案内及び指示に従ってください。
・医療機関内では、本製品の電源を切るなど無線機能を無効にしてください。これは、万が一医療機器への影響を与えて事故の原因となる恐れを防ぐためです。ご利用に関しては各医療機関の案内及び指示に従ってください。
・交通機関内でのご利用は各交通機関の案内及び指示に従ってください。交通機関では、本製品の電源を切るなど無線機能を無効にしてください。これは、万が一各交通機関の制御装置や機器への影響を与えて事故の原因となる恐れを防ぐためです。特に航空会社については、航空機の飛行状況などによって、機内での電子機器や無線機器の利用を禁止しています。航空機の装置等へ影響を与えて事故の原因となる恐れがあるため、本製品は航空機内ではご利用にならないでください。詳しくは、各交通機関へお問い合わせください。 電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。

電波について
・万が一、本製品使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波の干渉が発生した場合には、速やかに周波数を変更するか、使用を中止して下さい。

・その他、本製品から移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波干渉などで何かお困りのことが発生しましたら、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
その他
Bluetooth 搭載機器の場合は対応プロファイルによってご使用できない場合もございますのでご了承ください。なお、プロファイルの確認についてはご使用の Bluetooth 機器のユーザーガイドをご覧ください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください。
2011 年 11 月 1 日　初版
発行　株式会社インターソリューションマーケティング

バッテリーの取扱、充電、保管など

取扱について
SR10 には、メインユニットに内臓されており、一体型バッテリーとなっています。バッテリーを本体から分離、分解することを固く禁止します。

充電について
バッテリーへの充電は数百回以上上できます。しかし、寿命になると充電できなくなりますのでご了承ください。充電する場合、本製品の同梱された充電機器、充電用ケーブルのみ使用するように御願いします。それ以外の充電器、ケーブルを使う場合、火事、爆発、炉電など生じる場合があり大変に危険です。

保管環境
（場所）火器に近付けたり火に投げ込んだりしないようにしてください。爆発することがあります。また、外部から衝撃を与えないでください。その時にも爆発することがあります。
（動作時間）バッテリーの動作時間は、使用環境、機能の使用状態、動作状態、バッテリーの寿命と保管状況・温度などさまざまな条件によって変更します。

製品の維持管理

製品のユーザーガイド、及び、製品を安全に使うために、の項をよくお読みいただき、製品の維持管理並びに製品の取扱にご注意をくださいますよう御願いします。

製品の廃棄

本製品パッケージに上のこのマークは、電子製品、その部品、アクセサリー、バッテリーなどを廃棄する場合、適切な方法に従い（例えば、分別処理廃棄が必要な場合、廃棄前に廃棄できる状態にして）行うようにお知らせしています。これは分別処理するシステムが適用されているすべての地域に適用されます。環境汚染の防止、無分別な廃棄による健康への害がないように、本製品を他の一般ごみと一緒に廃棄することないように御願いします。廃棄の際、分別処理について不明な場合には、最寄りの各地方自治体へお問い合わせください。

免責・製品保証

免責

本製品を道路上での使用については、各地方自治体の条例、各都道府県の道路交通法に従って下さい。本製品使用時の法的責任はすべて使用者にあり、本製品のメーカー、輸入会社、及び販売会社は一切の法的な責任は負いません。

製品保証

製品保証期間は、購入日から 1 年です。ただし、ご利用される方の責による不具合、故障の場合には製品保証の対象外となる場合があります。製品のユーザーガイド、並びに、安全にお使いいただくために、を必ずご覧くださいますよう御願いします。詳しくは、弊社までお問い合わせください。

1. はじめに

このたびは SENA SR10 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 SR10 は Bluetooth v2.1 +EDR Class1 技術を使った、双方向無線機用 Bluetooth アダプターです。

市販のトランシーバー等の無線機器をケーブルで SR10 につなげば、Bluetooth 無線で市販の Bluetooth ヘッドセットとつながり、ワイヤレスヘッドセットで会話,音声ガイダンス等を聞く事が可能になります。

SR10 には２つの外部入力ポートがあり、Bluetooth 機能を持たないレーダー探知機や、GPS ナビなどをつないで、それらの音声ガイダンスを Bluetooth 無線で SMH10 や、SPH10 などのヘッドセットから聞けます。

SR10 につなげば､携帯電話の通話と双方向無線機器との会話をお使いのヘッドセットで同時に行う事が可能になり、また、レーダー探知機のアラーム警告音と GPS ナビの音声ガイダンスを同時に聞く事も可能になります。SR10 はグループツーリング、アウトドアスポーツ、またセキュリティ分野など、活躍するフィールドは多岐に広がります。

主要機能：

- 双方向無線機用 Bluetooth ハンズフリーアダプター
- 携帯電話用の Bluetooth ハンズフリーアダプター
- １台の無線機（トランシーバー等）と、１台の携帯電話を同時につなぎ、使用が可能
- 市販の Bluetooth ヘッドセットとの互換性
- Bluetooth 機能がない GPS, レーダー探知機、携帯電話と接続可能な AUX 入力
- オートバイに取り付けるためのハンドルバー・マウントキットおよびベルトクリップ付き
- バイクから 12V 電源を取る事も可能（バイクイグニッションによる on/off）
- 悪天候にも対応する防滴機能
- ファームウェア更新可能
- １年間保証

2．製品および同梱品

2.1 メインユニット

2.2 同梱アクセサリー

USB ケーブル(充電・ファームウェアアップ用)	
3.5mm オーディオジャックケーブル	
拡張用 PTT ボタン	
ベルトクリップキット	
ハンドルバー・マウントキット	

*USB-AC 電源アダプターは別売りです。

3. SR10 の取り付け

3.1 ハンドルバーに取り付ける

ステップ 1. メインユニット背面部にラバーバンドを置いてください。
ステップ 2. ラバーバンドの上にジョイントパッドを載せて、スクリューネジで本体とジョイントパッドを固定します。
ステップ 3. メインユニットを固定する位置をハンドルバー上に決め、ラバーバンドでハンドルに巻いてから、フックにかけて固定します。

3.2 ベルト/ポケットに取り付ける

ステップ 1. メインユニットの背部にベルトクリップを取り付けてからスクリューネジを締めます。
ステップ 2. ベルトクリップでベルト等に取り付けてください。

4. SR10 の電源オン/オフおよび充電方法

本アダプターのオン/オフはペアリングボタンおよび PTT ボタンを同時に一度押すだけで、オン/オフができます。

4.1 電源のオン/オフ

電源オン

ペアリングボタンおよび PTT ボタンを同時に 1 秒ほど押してください。電源がオンになると、青色 LED が点灯します。

電源オフ

ペアリングボタンおよび PTT ボタンを同時に 1 秒ほど押してください。赤色 LED が 3 秒ほど点灯し、それから電源がオフになります。

4.2 機器の充電

充電

充電中は赤色 LED が点灯します。全充電完了するまで、約 3.5 時間を要します。充電が完了すると、青色 LED が点灯します。

充電が必要な時

バッテリー残量が少なくなると、赤色 LED が点滅します。

5. SR10 と Bluetooth 機器とのペアリング方法

5.1 Bluetooth ヘッドセットとのペアリング

ステップ 1.　Bluetooth ヘッドセットの電源をオンにし、ペアリングモードにする。(詳しくはお使いのヘッドセットのマニュアルを参照してください)
ステップ 2. SR10 の電源をオンにし、ペアリングボタンを 5 秒間押し続けてください。赤と青の LED が交互に点滅開始します。
ステップ 3. ペアリングが成功すると、SR10 の青色 LED がゆっくりと点滅します。

5.2 Bluetooth 携帯電話とのペアリング

ステップ 1. SR10 の電源をオンにし､ペアリングボタンを 8 秒間押し続けてください｡赤色 LED が高速点滅します。　お使いの携帯電話から Bluetooth 機器検索で SR10 を検索します。
ステップ 2. PIN コードは 0000 を入力してください。（お使いの携帯電話によっては入力不要です）
ステップ 3. SR10 は”ヘッドセットプロファイル“を使用してペアリングしました。
ステップ 4. ペアリングが成功すると、SR10 の赤色 LED がゆっくりと点滅します。

6. SR10 を使用する

6.1 双方向無線機器(トランシーバー)を使用する

ステップ 1. SR10 の電源がオンで、トランシーバーとつないでいる場合、トランシーバーの音声は、直接ヘッドセットから聞こえるようになります。Bluetooth ヘッドセットをトランシーバーのハンズフリーデバイスとして使用が可能になります。

ステップ 2. SR10 を介してトランシーバーで会話するには、SR１０本体にある PTT ボタン、または拡張ケーブル PTT ボタンを押したままの状態で会話してください。

6.2 ケーブル PTT ボタンの取り付け方法

ステップ 1. 拡張ケーブル PTT ボタンをバイクのハンドルバーまたは、手が届きやすい場所に取り付けてください。
ステップ 2. ラバーバンドを巻き付け固定してから、フックにかけてください。

6.3 ポートおよびケーブル

SR10 には１つのメインポートおよび２つの AUX(外部)ポートがあり、他の機器とケーブルでつなぐ事ができます。下記のリストをご覧ください。

- メイン：Hirose コネクタ双方向無線ケーブル （別売りアクセサリー）
- AUX1: 3.5mm 3-pole オーディオジャックケーブル（GPS、レーダー探知機、レーザー探知機用。同梱）
- AUX2: 3.5mm 3-pole オーディオジャックケーブル (GPS, レーダー探知機、レーザー探知機用または 3.5mm 4-pole 携帯電話ケーブル用)

6.4 携帯電話に SR10 をつないで使う

1. Bluetooth ワイヤレス接続
   SR10 が Bluetooth ヘッドセットおよび Bluetooth 対応携帯電話とペアリング接続している場合、Hands-Free-Profile を携帯電話とのペアリング接続に割り当てます。SR10 は携帯電話からの着信および双方向無線機器(トランシーバー)からの通話を同時に Bluetooth ヘッドセットに送信します。Bluetooth ヘッドセットで携帯電話およびトランシーバーとの会話が可能になります。

2. ケーブルによる接続
   携帯電話と SR10 を AUX2 にケーブルでつなぐことにより Bluetooth ハンズフリー化する事が可能になります。この場合、SR10 はメインポートおよび AUX2 からの音声を一緒に Bluetooth ヘッドセットに送ります。携帯電話との互換性、およびケーブル互換性については、弊社までお問い合わせください。
   お問い合わせ：http://senabluetooth.jp/contact

6.5 オーディオチャンネルの開閉について

SR10 は接続している機器(トランシーバー、携帯電話、GPS ナビ、レーダー探知機等)からの音声を 1 つのオーディオチャネル*(*SR10 がヘッドセットに音声を送る経路)を使って Bluetooth ヘッドセットへ送ります。
SR10 につないでいる機器から SR10 に音声が入ると、SR10 は、Bluetooth ヘッドセットと Bluetooth 接続を行い、オーディオチャネルが開くのでヘッドセットからシグナル音が聞こえます。オーディオチャンネルを開くためのシグナル音は、トランシーバーの着信音、GPS ナビ案内音声、レーダー探知アラーム音、携帯着信音などです。オーディオチャネルは Bluetooth Hands-Free Profile (HFP)によって接続します。着信音が消えると、SR10 はオーディオチャンネルを閉じ、HFP 接続を切断します。

このオーディオチャネルは音声が入ってこない状態の時でも、マニュアル（手動）で開閉可能です。PTT ボタンをダブルタップしてください。つないでいる機器、または入ってくる音声の状態によっては、勝手に接続が切れてしまうことがあります。接続をそのまま継続させたい場合は、SR10 とヘッドセットが接続されている状態の時に PTT ボタンをダブル（2 回）タップしてください。すると再度 2 回タップする時までオーディオチャネルは、常に開いている状態になります。
一定時間 SR10 からのオーディオチャネルを閉じたい時は、PTT ボタンを 3 回タップしてください。オーディオチャネルはロックされ、3 分間 SR10 からの音声はヘッドセットに入ってき

ません。この状態は SR10 の PTT ボタンをダブルタップするか、3 分経過すると解除されます。

アクション	状態	結果
PTT ボタンを 2 回タップ	オーディオチャネルが開いていない場合	手動で閉じない限りオーディオチャネルは開き続ける
	受信中によりオーディオチャネルが既に開いている場合	手動で閉じない限りオーディオチャネルは開き続けます
	PTT ボタンを 2 回タップしたことにより、オーディオチャネルが既に開いている場合	オーディオチャネルを閉じます。
PTT ボタンを 3 回タップ	一定期間オーディオチャネルを閉じたい時	3 分間 Bluetooth ヘッドセットとの接続を切断します

6.6 SR10 の各種設定値

SR10 を PC につなぎ、SenaBluetoothManager ソフトウェアを起動することにより、SR10 の各種設定を行う事ができます。

無線送信ゲイン

無線送信ゲインは、SR10 に接続した双方向ラジオに音を出力する無線出力増幅のマイク増幅率（低、中、高）を調整します。無線増幅を変更しても、SR10 に有線または Bluetooth 接続している携帯電話通話のボリュームレベルには影響を与えません。

オーディオチャネルタイムアウト

オーディオチャネルタイムアウトとは、SR10 とヘッドセット間のオーディオチャネルを

閉じる際のアイドル（待機）時間です。ここで設定した秒間、SR10 は音声を待機します。しかし秒間経過後、音声がなければ、オーディオチャネルは自動的に閉じます。初期値は 5 秒となっており、5 秒間音声が入らない状態が続くと、自動的に閉じます。

6.7 工場出荷時（初期値）の状態にリセットする

ステップ 1.　SR10 を工場出荷時の状態にリセットするには、ペアリングボタンを 12 秒間押し続けてください。すると赤色 LED が点灯します。

ステップ 2.　5 秒以内にペアリングボタンをもう一度タップし、リセット作業を完了します（ペアリングボタンの代わりに PTT ボタンをタップしても、同じ結果となります）。
SR10 は工場出荷時の状態に戻り、青色の LED が数回点滅した後、電源がオフになります。

ステップ3.　5秒以内にペアリングボタンを押さないと、リセット作業はキャンセルされ、SR10 はスタンバイモードになります。もう一度ステップ 1〜2 をやり直してください。

6.8　SR10 がうまく動作しない時

SR10 が正常に動作しない、またはステータス異常が見られる場合、SR10 メインユニットの上部にある小さなリセットボタンを押して、ソフトリセットを行ってください。紙クリップまたは鉛筆の先のような尖ったもので軽く 1 秒間ほど押します。SR10 の電源はオフになります。再度 SR10 の電源をオンにし、使用してみてください。
注意：このソフトリセットは 6.5 のリセットのように工場出荷時の状態に戻る事はありません。

6.9　SR10 と周囲の Blueooth 機器がうまくペアリングしない時

SR10 と周囲の Bluetooth 機器のペアリングを一度終えて電源オフにした後、２度目にペアリングを行なおうとするときに、機器との相性によっては、うまくペアリングが行なわれないことがあります。そのような場合には、ペアリング試行中にペアリングボタン（SR10 本体の上部にある小さなボタン）をタップしてください。すると、自動的に周囲の Bluetooth 機器と再ペアリングするようになり、ペアリングが成功することがあります。

6.10　SR10 のファームウェアアップグレード

SR10 はファームウェアのアップグレードをすることにより、より製品の機能を改善する事ができます。詳細は弊社の SR10 会員サイトをご覧ください。

7. ボタンおよび LED 表示のクイックリファレンス

7.1 ボタン

ボタン	説明	時間	LED
ペアリングボタン +PTT ボタン	電源オン	On	青点灯
	電源オフ	1 秒	赤点灯
ペアリングボタン	Bluetooth ヘッドセットペアリング	5 秒	赤青点滅
	携帯電話ペアリング	8 秒	赤点滅
	ファクトリ（初期値状態）リセット	12 秒	赤点灯
	初期状態リセット確認	タップ	青点滅
PTT ボタン	トランシーバー音声送信		青点灯

7.2 LED 表示　（使用中）

LED 表示	説明
2 秒毎に青点滅	ヘッドセットと Bluetooth 接続していません
青ゆっくりと点滅	Bluetooth ヘッドセット bluetooth 接続中であり、待機中
赤ゆっくりと点滅	携帯電話接続中
青ダブル点滅	ヘッドセット間のオーディオチャンネル開き中
赤ダブル点滅	SR10 と Bluetooth 接続している電話通話中
青素早く点滅	ペアリング中のヘッドセットを検索中
青点灯	PTT ボタンが押下中
赤素早く点滅	バッテリー量低下
赤点灯	充電中
青点灯	充電完了

7.3 LED 表示　（充電中）

LED 表示	説明
赤点灯	充電中
青点灯	充電完了

製品保証

⋆保証契約約款⋆

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の弊社条件等を規定するものです。お客様が、この約款に規定された条項に同意いただけない場合は、保証契約を取り消すことができますが、その場合は、ご購入の製品を使用することなく販売店または弊社にご返却ください。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

第一条（定義）
１　この約款において、「保証書」とは、保証期間に製品が故障した場合に弊社が修理を行うことを約した重要な証明書をいいます。
２　この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を作動させた場合であっても、製品が正常に機能しない状態をいいます。
３　この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該個所の修理をいいます。
４　この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に対し無償修理をお約束することをいいます。
５　この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であって、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障個所の修理をいいます。
６　この約款において、「製品」とは、弊社が販売に際して梱包された物のうち、本体部分をいい、付属品および添付品などは含まれません。
第二条（無償保証）
1 製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、次の各号に掲げる場合は、保証期間内であっても無償保証の適用を受けることはできません。
２　修理をご依頼される際に、保証書または、製品購入日を証明できる書類を提出できない場合。
３　お客様が製品をお買い上げいただいた後、お客様による運送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合。
４　お客様における使用上の誤り、不当な改造もしくは修理、または、弊社が指定するもの以外の機器との接続により故障または破損した場合。
５　火災、地震、落雷、風水害、その他天変地異、または、以上電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合。
６　消耗部品が自然摩耗または自然劣化し、消耗部品を取り換える場合。
７　前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様の使用方法によると認められる場合。
第三条　（修理）
この約款の規定による修理は、次の各号に規定する条件の下で実施します。
１　修理のご依頼時には製品を弊社修理サポート宛までご送付ください。宛先については本マニュアルの修理サポートのご案内をご覧ください。尚、送料は送付元負担とさせていただきます。また、ご送付時には宅配便など送付控えが残る方法でご送付ください。郵送はお断り致します。
２　修理は、製品の分解または部品の交換もしくは補修により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象の製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換することにより対応させていただくことがあります。
３　無償修理により、交換された旧部品または旧製品等は、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きます。
第四条　（免責事項）
１　お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。

第五条　（有効範囲）
この約款は、日本国内においてのみ有効です。また海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。